



平成 28 年 1 月 29 日

各 位

会社名 大和工業株式会社
代表者名 取締役社長 井上 浩行
(コード番号: 5444 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 吉田 隆文
(TEL 079-273-1061)

中東合弁事業のリスクに関するお知らせ

当社は、世界市場をターゲットにグローバルな事業を展開しており、米国、タイ国、韓国に続く新たな展開先として、2007年に形鋼需要の拡大が見込まれる中東地域への進出を決定し、中東事業の合弁先である Foulath 社と共に、2009年にはバーレーン王国にスルブカンパニーBSC(c)「以下 SULB 社」を設立し、主にH形鋼の生産・販売のため、直接還元鉄から製鋼、圧延の一貫工場を建設し、2011年には特別目的会社を通じてサウジアラビア王国の鉄鋼メーカーの資産買収を行い、ユナイテッド・スルブカンパニー（“サウジスルブ”）LLC「以下 Saudi Sulb 社」を設立し、中東での事業を進めてまいりました。

SULB 社は 2013 年 7 月末より商業生産を開始し、既にフル生産体制は確立しておりますが、石油価格下落による中東地域での需要低迷、中国等からの安価な鉄鋼製品・半製品の流入による販売価格低迷、現地における電気、ガス、水道価格の上昇によるコスト増、直接還元鉄の原材料となるペレットの安定調達の課題等、当初想定していなかった様々な要因により、非常に厳しい経営環境に直面しております。また、Saudi Sulb 社においても、同様に厳しい状況となっております。

当社は Foulath 社と今後の対策、事業運営等（組織体制の見直しも含めたコスト削減強化等）について協議を重ねておりますが、足元の環境は悪化する一方であり、2014 年度には黒字を計上したものの、2015 年度は赤字計上を余儀なくされており、また 2016 年度も引き続き赤字計上が見込まれることから、収支の改善には相当の期間を要するものと思われまます。

当社は中東合弁事業に多額の投資（貸付、債務保証含む）を行っており、中東の営業活動に伴う損失に加え、今後、多額の投資損失が発生した場合は、当社グループの業績及び財務状況に大きな影響を及ぼす可能性があります。

なお、平成 28 年 3 月期の通期業績予想（本日公表）に影響を及ぼす場合には、速やかに公表いたします。

以 上